

答え合わせ・解説

問1	答え 1 愛知県	愛知県の農業は、特定の品目に偏らず、野菜、畜産、花きなど多様な品目を組み合わせて生産しているのが特徴です。特に野菜の出荷額は全国トップクラスであり、キャベツやブロッコリーなどが有名です。選択肢にある新潟県は「米」、和歌山県は「果実」の産出額割合が非常に高いことで知られており、愛知県の統計的な特徴とは異なります。
問2	答え 4 高い山々に囲まれた盆地が多く、夏と冬の気温差や昼夜の温度差が大きい内陸の気候となる。	長野県や山梨県は日本アルプスなどの高い山々に囲まれているため、海からの湿った空気が入りにくく、降水量が比較的に少ない内陸の気候（中央高地の気候）となります。また、盆地は熱がこもりやすく、夜間は放射冷却により冷え込みやすいため、気温の年較差や日較差が大きくなるのが特徴です。
問3	答え 3 冬の積雪期における農家の副業として始まり、現在は多くの小規模な工場が工程を分担する分業体制によって支えられている。	鯖江の眼鏡産業は、雪深い冬の時期に収入を得るための副業として始まりました。この産業の特徴は、一つの製品を完成させるために、部品作り、研磨、メッキ、組み立てといった各工程を専門の工場が担当する「分業体制」が確立されている点にあります。この仕組みにより、職人の高度な技術を維持しながら効率的な生産が可能になっています。
問4	答え 2 茶畑	静岡県は日本有数の茶の産地であり、島田市の権現原周辺のような台地や斜面では、茶の栽培が非常に盛んです。地形図上では、茶の実を半分に切った形を記号化した「茶畑」の地図記号（3つの点が集まった形）が広く分布しています。一方、リンゴやミカンなどの果樹園や、稲作を行う水田とは記号が明確に区別されています。
問5	答え 4 避難場所の位置や、そこへ至るまでの具体的な避難方向	ハザードマップの目的は、被害の予測を伝えることだけではなく、実際の避難行動を支援することにあります。そのため、どこが危険かという「浸水想定区域」の情報に加え、どこへ逃げるかという「避難場所の位置」、そしてどのルートを通るべきかという「避難方向」をセットで提供することが、防災情報の充実において極めて重要です。
問6	答え 1 石川県	石川県は加賀平野を中心に稲作が盛んであり、農業産出額に占める米の割合が他県に比べて高いのが特徴です。一方、長野県は果実や野菜、愛知県は野菜や花き、岐阜県は畜産や野菜の割合がそれぞれ高くなっており、統計上の数値から各県の農業の特色を判別することができます。
問7	答え 3 輪島塗	石川県輪島市で生産される輪島塗は、国の伝統的工芸品に指定されている漆器です。北陸地方の湿潤な気候は漆の乾燥に適しており、古くから地場産業として発展してきました。福島県の会津塗、岩手県の南部鉄器、京都府の西陣織といった他の地域の伝統産業との違いを区別することが重要です。
問8	答え 2 周囲より一段高い平坦な地形で、水はけが良く、機械による効率的な作業に適しているため	牧之原台地のような平坦な台地は、茶摘み機などの大型機械を導入しやすいため、大規模かつ効率的な農業経営が可能です。また、台地は一般に水が得にくく稲作には向きませんが、茶の栽培には適した水はけの良い土壌条件を備えています。
問9	答え 2 ファインセラミックス	陶磁器の原料を精製し、焼き固める伝統技術を高度化させることで、熱や摩耗に強く、電気を通しにくいなどの性質を持つファインセラミックスが開発されました。瀬戸市や近隣の多治見市などでは、この技術を活かした先端産業が盛んです。
問10	答え 2 山梨県 - 甲府市	中央高地に位置する山梨県は、周囲を高い山々に囲まれた内陸県の一つです。県庁所在地の甲府市は甲府盆地に位置しており、この地域ではぶどうや桃などの果樹栽培が非常に盛んです。静岡県も富士山に面していますが、内陸県ではないためこの条件には当てはまりません。
問11	答え 3 冬の積雪の影響で農作業が難しい時期があるが、春の豊かな雪解け水を利用した稲作が盛んで、銘柄米の産地として知られる。	北陸地方は日本海側特有の気候により、冬に多くの積雪があります。この積雪は、冬の間の耕作（裏作）を困難にする一方で、春には豊かな雪解け水として水田を潤す水源となります。そのため、古くから稲作の単作地帯として発展してきました。現在では「コシヒカリ」に代表される銘柄米の生産に力を入れ、日本有数の「米どころ」としての地位を確立しています。他の選択肢については、大規模な畑作・酪農は北海道、近郊農業は関東地方、畜産は九州地方（特に南九州）の特色を述べたものです。
問12	答え 1 輪島塗・加賀友禅	石川県は北陸地方に位置し、冬季の降雪が非常に多い地域です。この地域では、輪島塗（漆器）や加賀友禅（染色）といった高度な技術を要する伝統的工芸品が発達しました。これらは気候条件を背景とした歴史的な産業であり、現在も地域の重要な産業となっています。
問13	答え 3 北西の季節風が日本海を渡る際に湿気を蓄え、山脈にぶつかって雪を降らせるため	日本の冬には、シベリア高気圧から大陸の冷たく乾いた北西の季節風が吹きます。この風が暖かい日本海の上を通る際に水蒸気を蓄え、日本の脊梁山脈にぶつかることで上昇気流が発生し、日本海側に位置する上越市などに大雪（降水）をもたらします。
問14	答え 2 標高が高い地域の冷涼な気候や、扇状地などの水はけの良い傾斜地を活かしているため。	長野県では、夏の涼しい気候を利用して出荷時期をずらす野菜の抑制栽培（高原野菜）が行われています。また、傾斜地は水はけが良いため果樹園に適しており、リンゴなどの栽培に利用されています。このような自然環境に合わせた適地適作が行われていることが、農業産出額の構成に反映されています。